

テープにファイルシステムのコセ念を導入了た
LTO5大容量ファイルシステム



特長

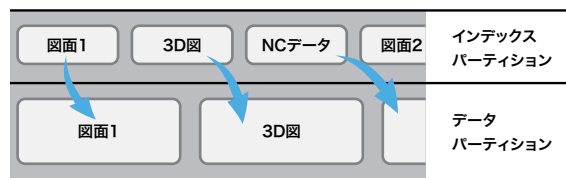
LTO5ドライブとLTFSソフトウェアにより、テープ装置をディスク化し、ファイルシステムとして利用可能

本システムはLTO5テープ装置、SAS HBAカード、SASケーブル、LTFS3000サービスパックから構成され、容易に導入が行えますので、導入後すぐにお使いいただけます。

- ファイルをアプリケーションから直接アクセスすることが可能
- テープに記録されているファイル情報を高速展開し、エクスプローラなどですぐに確認が可能
- ドラッグ&ドロップ操作で簡単にテープへのデータ読み書きが可能
- 従来のテープでは困難であったデータ更新も容易に操作が可能
- Windows/Mac OS X/Linuxをサポート、プラットフォームをこえたデータ交換にも利用が可能
- 記録データの世代管理機能により、過去に記録されたデータの復旧にも対応

LTFSは、テープをデータ記録領域とインデックス領域に2分割し、データ記録領域に記録されるデータをすべて追記型で書込みますので、すでに書かれているデータ領域には一切変更が加わりません。インデックス領域には、メディア排出時に最新のインデックスデータが追記されます。

パーティショニング機構



導入のメリット

- 1.5TBの大容量が簡単に利用可能
- 記録データの世代管理機能により、過去に記録されたデータの復旧に対応


主な用途

- 映像資産のアーカイブ
- 映像関連のポストプロダクション作業での受渡し
- メディア業界での制作・保存・受渡し
- 製造業でのCAD/CAMデザインの保管・受渡し
- 医療分野での画像処理・カルテ等の整理・保管
- 監視カメラでの撮影画像の長期保存・一括管理

システム概要

リムーバブルディスクの「取扱いの容易さ」と「直接アクセス」、LTOの「容量増加・保存の容易さ」と「GBあたりの安価な単価」、両方を兼ね備えたシステムです。

【ドラッグ&ドロップでのファイル書き込み】



リムーバブルディスク同様に、ドラッグ&ドロップ操作でデータ読み書きが可能

【世代管理】

インデックスパーティション

第一世代 → 第二世代 → 第三世代

任意の世代に戻ることが可能

- インデックスパーティションが世代管理されるため、任意の世代に戻ることが可能
- 世代は、メディア排出時に自動作成

【LTFSを使用した異なるプラットフォーム間におけるデータ共有】


Windows

Mac OS

LTO5テープ装置

複数のメディアで保管していたデータを一括管理

LTO5



LTFSの仕組み

テープをインデックスパーティションとデータパーティションに二分割し（パーティショニング）、インデックスパーティションにデータの情報を索引として保管し、データの直接検索を可能にします。

インデックスパーティション

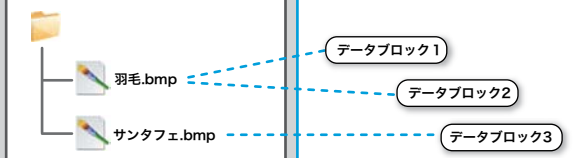
- ファイル/ディレクトリ構造情報
- 属性情報（ファイル名、タイムスタンプ等）
- データブロックの割り当て

データパーティション

- 高速データ転送を可能にする、512KB/ブロック（ハードディスクの1000倍）
- 新規データは常に後方へ追記し、インデックスパーティションで管理

羽毛.bmp → データブロック1

サンタフェ.bmp → データブロック2




- LTO5のパーティション機能により、インデックスパーティション（ファイルシステム構造情報）とデータパーティション（ファイルデータ）を分離して保管
- テープが不得意な小さなデータのランダムアクセスが要求されるインデックスパーティションは、メモリにキャッシュすることにより応答性能を向上

エクスプローラ

テープファイルシステムのイメージ

インデックスパーティション

データパーティション



製品構成

- LTO5テープ装置
- PCI Express x8 6Gb SAS HBA
- SASケーブル (miniSAS - miniSAS)
- LTFS3000サービスパック

ハードウェア仕様

ドライブタイプ	LTO5 Ultrium
物理容量	最大3TB(2:1圧縮時) 1.5TB(非圧縮時)
電源	100~240V
インタフェース	SAS
外形寸法(mm)	223(W) × 295(D) × 77(H)
質量	4.7kg